

One Team

市川市立第四中学校
第1学年 学年通信
2022年4月22日
第3号

新しい世界が 広がる **部活動に挑戦!**

●四中生としての生活もずいぶん板についてきた1年生ですが、部活動に関しては、25日(月)より、部活動集会をもって正式入部となります。そこで今回は、あらためて部活動の長所を確認してみましょう。

習い事などで部活に参加できない人もいますが、参加できる人は、自分で選んだからには3年間やりとげられるといいですね。



その1 その道のエキスパートになれる!

●「エキスパート」とは、「専門家」という意味です。部活をやる上で一番良い点は、その部活の技術がとてもうまくなり、レベルがアップすることです。初めてやる人も、小学校からやってきている人も、毎日練習することにより上達し、3年生になることには、見ちがえるほどの技術が身についていることでしょう。それは、仮入部期間に見た先輩の姿でよくわかります。

スポーツの種目を選んだ人は、体育でその種目をやるときには、まずまちがいなく大活躍できることでしょう。見本の演技も、その部活の人がたのまれることもあるようです。毎日の練習が実を結ぶのです。

その2 先輩・後輩ができる!

●これも大きなポイントです。中学校ではふだんの授業や教室での生活は、同級生とだけで過ごしています。でも、実際に世の中に出ると、同級生だけの生活場所というのは、ほとんどありません。いろいろな世代、さまざまな年齢の人と一緒に生活するのが普通です。

部活では年上の先輩と接することができます。親しい人が年齢をこえて広がるのです。先輩と接

することで、年上の人に対するマナーやことばづかいを学ぶことができ、それがやがて皆さんが世の中で出たときに、大きく役立つことになります。

そして、いずれは後輩もできます。自分が学んだことを教えて、伝えていくこと——これも大きな社会勉強といえます。今のうちに先輩から、基礎・基本をたっぷりとたたきこんでもらいましょう。



その3 勉強との両立がうまくなる!

●このことは、中学生の部活に関する悩みとして、よくあげられるものです。学習が思うようにはかどらないのは、部活で疲れているせいかな……? こういう考えで部活をやめていく人がいるのも事実です。たしかに、部活のために勉強時間が思うようにとれない人もいます。

でも、もしそうだとしたら、部活に入っている人はみんな勉強できないということになってしまいます。実は、忙しいからこそ、うまく時間をやりくりしたり、少しの時間を大切にしたりして、学習時間を確保している人が多いのも部活に入っている人たちなのです。

●いかがでしたか。この他にもまだまだ良い点があると思います。なにより、部活との出会いが大きいことなのです。もしかすると、部活を引退した後も一生つきあっていけるような、あなたの人生を豊かにしてくれる存在になるかもしれませんよ。

新入生オリエンテーションが開かれました

●先週のことになりますが、13日(水)5時間目に生徒会主催の行事、新入生オリエンテーションが開かれました。これは、1年生のために四中の生活をはじめ、専門委員会や部活を説明してくれる会です。運営は3年生を中心とした先輩方で、映像などを入れながら、わかりやすく説明してくれました。1年生の声を紹介します。

- ・それぞれの委員会や部活が、個性豊かでなじみやすそうでした。このオリエンテーションで少し不安がなくなりました。
- ・部活の様子では、わざと怖い感じにしてみたり、かわいい文字を使ったりなど興味を引くような動画になっていた。またモニターに映っているのをそのまま言うのではなく、+αで説明をしてくれていたのがわかりやすかった。